

書籍 — 発表者：Vadrevu, K. P., Ohara T.(大原利眞), Justice C. 掲載誌：Land-Atmospheric Research Applications in South and Southeast Asia (2018)	(筑波研究学園都市記者会、環境省記者クラブ同時配付)
書籍 Impacts of biomass burning emissions on tropospheric NO2 vertical column density over continental Southeast Asia 発表者：Itahashi, S., Uno, I., Irie, H., Kurokawa, J., Ohara T.(大原利眞) 掲載誌：Land-Atmospheric Research Applications in South and Southeast Asia, 67-81 (2018)	2016年6月24日 ビデオライブラリ 講演 4 東日本大震災後の災害環境研究で学んだこと、そしてこれから 福島支部 大原 利眞 (28分25秒)
査読付き 原著論文 Time-series analysis of atmospheric radiocesium at two SPM monitoring sites near the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant just after the Fukushima accident on March 11, 2011 発表者：Tsuruta H., Oura Y., Ebihara M., Moriguchi Y., Ohara T.(大原利眞), Nakajima T. 掲載誌：Geochemical Journal, 52:103-121 (2018)	2015年9月30日 報道発表 「被災地の環境再生をめざして～放射性物質による環境汚染からの回復研究～」国立環境研究所「環境儀」第58号の刊行について（お知らせ） (筑波研究学園都市記者会、環境省記者クラブ同時配付) 全てを見る
査読付き 原著論文 Atmospheric Modeling of 137Cs Plumes From the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant-Evaluation of the Model Intercomparison Data of the Science Council of Japan 発表者：Kitayama K.(北山響), Morino Y.(森野悠), Takigawa M., Nakajima T., Hayami H., Nagai H., Terada H., Saito K., Shimbori T., Kajino M., Sekiyama T.T., Didier D., Mathieu A., Quelo D., Ohara T.(大原利眞), Tsuruta H., Oura Y., Ebihara M., Moriguchi Y., Shibata T. 掲載誌：Journal of Geophysical Research: Atmospheres, 123(14):7754-7770 (2018)	
査読付き 原著論文 Urban Air Quality Model Inter-Comparison Study (UMICS) for Improvement of PM2.5 Simulation in Greater Tokyo Area of Japan 発表者：Shimadera H., Hayami H., Chatani S.(茶谷聡), Morikawa T., Morino Y.(森野悠), Mori Y., Yamaji K., Nakatsuka S., Ohara T.(大原利眞) 掲載誌：Asian Journal of Atmospheric Environment, 12(2):139-152 (2018)	全てを見る
研究成果（口頭）	
all 研究発表 研究講演	
研究講演 Current status of radioactive environmental pollution in Fukushima 発表者：Hayashi S.(林誠二), Tsuiji N.(辻宣行), Ishii Y.(石井弓美子), Ohara T.(大原利眞) 学会等名称：The 14th International Symposium on Persistent Toxic Substances (2017) 予稿集名：-	
研究講演 PM2.5問題の現状と展望 発表者：大原利眞 学会等名称：平成29年度 電力中央研究所 技術交流コース (2017) 予稿集名：なし	
研究発表 放射性物質の大気シミュレーションーこれまでの成果と今後の課題 発表者：森野悠, 大原利眞 学会等名称：第58回大気環境学会年会 特別集会5 福島事故による放射性物質の大気環境影響はどこまで明らかになったか (2017) 予稿集名：同予稿集, 155	
研究講演 大気環境学会と自治体との協働をどう進めるか 発表者：大原利眞 学会等名称：大気環境学会関東支部講演会 (2017) 予稿集名：同予稿集	
研究発表 大気モデル相互比較に基づく福島原発事故起源の137Csの動態解析 発表者：森野悠, 北山響, 滝川雅之, 中島映至, 速水洋, 永井晴康, 寺田宏明, 斉藤和雄, 新堀敏基, 梶野瑞王, DidierDamien, MathieuAnne, 大原利眞, 鶴田治雄, 海老原充, 大浦泰嗣, 柴田徳思 学会等名称：日本気象学会2017年度春季大会 (2017) 予稿集名：同予稿集	
全てを見る	
所の刊行物	
大原利眞、菅田誠治 (2015) PM2.5と光化学オキシダントの実態解明と発生源寄与評価に関する研究. PM2.5と光化学オキシダントの実態解明と発生源寄与評価に関する研究研究報告R-210-2014, 191p.	
国立環境研究所 (2015) 都市大気における粒子状物質削減のための動態解明と化学組成分析に基づく毒性・健康影響の評価（分野横断型提案研究）. 研究プロジェクト報告SR-109, 84p.	
神田勲,山尾幸夫,上原清,大原利眞 (2012) Development of a roadside atmospheric diffusion model MCAD. 研究報告R-207-2012, 152p.	

国立環境研究所 (2012) 二次生成有機エアロゾルの環境動態と毒性に関する研究（特別研究）, 研究プロジェクト報告 SR-101, 75p.

国立環境研究所 (2011) アジア自然共生研究プログラム（終了報告）, 特別研究報告SR-99, 106p.

[全てを見る](#)

委員会活動

2018年度：平成30年度光化学オキシダント健康影響検討会委員及び光化学オキシダント健康リスク解析手法検討作業部会委員（環境省 水・大気環境局）

2017年度：平成29年度大気汚染に係る環境保健サーベイランス調査検討会委員（環境省 大臣官房環境保健部）

2017年度：平成29年度光化学オキシダント健康影響検討会委員および光化学オキシダント健康リスク解析手法検討作業部会委員（環境省 水・大気環境局）

2017年度：栃木県環境審議会大気部会専門委員（栃木県環境森林部環境保全課）

2017年度：環境保健サーベイランス・局地的大気汚染健康影響検討会委員（環境省 大臣官房環境保健部）

[全てを見る](#)

受賞

2014年：平成25年度NIES賞（独立行政法人国立環境研究所）

2014年：日本LCA学会 論文賞（日本LCA学会）

2012年：平成23年度NIES賞（独立行政法人国立環境研究所）

2010年：大気環境学会論文賞（社団法人大気環境学会）

2010年：大気環境学会論文賞（社団法人大気環境学会）

2010年：大気環境学会学術賞（斉藤潔賞）（社団法人大気環境学会）

2009年：社団法人大気環境学会論文賞（社団法人大気環境学会）

2009年：社団法人大気環境学会論文賞（社団法人大気環境学会）

2009年：社団法人大気環境学会論文賞（社団法人大気環境学会）

2009年：社団法人大気環境学会論文賞（社団法人大気環境学会）

2009年：平成20年度NIES賞（独立行政法人国立環境研究所）

2004年：日本エアロゾル学会井伊谷賞（日本エアロゾル学会）

学会活動

2009年度：（公社）大気環境学会：大気環境学会長

[全てを見る](#)

[このホームページについて](#) | [ソーシャルメディアポリシー](#) | [プライバシーポリシー](#) | [関連リンク](#)

カスタム検索